

第6回伊勢市施設類型別計画検討委員会 会議録

1. 日時 平成29年6月6日(火) 午後7時～午後8時
2. 場所 伊勢市役所 本庁舎 東館4階 第2会議室
3. 出席者
 - (1) 委員出席者
筒井委員、上井委員、河村委員、加藤委員、杉山委員、大西委員
 - (2) 市出席者
情報戦略局長、情報戦略局参事、情報調査室主幹、同室主査、同室主事
4. 議事
 - (1) 施設類型別計画策定に向けたその後の経過について
5. 会議録(要旨)
 - (1) 施設類型別計画策定に向けたその後の経過について

4月から施設類型別計画策定の考え方について、地域審議会や総連合自治会、まちづくり協議会と意見交換を実施しており、そこでは個々の意見や要望ではなく、計画策定の考え方についての意見やマネジメントを進めて行く上でのアイデアを聞きとっているが、その実施結果を報告し意見をいただいた。

- ・意見交換会で使用する事前アンケートの設問の間1から間3について、理解している方でも内容が難しい。この設問は計画を立てる上で根拠になっているが、意見交換会の参加者にそこまで求める必要があるのか。
⇒計画策定の考え方は、方向性を決める基準となるため、最初に総論になるベースの部分でよし悪しを聞かせてもらおうと考えた。
「市が勝手に決めた」と言われぬように、アンケートについても、まずは読んで書いてもらい、分かりにくい部分は丁寧に説明し納得してもらい、その場で書けない場合は持ち帰ってから記入してもらっている。
- ・今までこの検討委員会にも確認をとって進めてきたわけで、計画を作るに当たり同じ事を市民に対してもする必要はあるのか。意見交換会の結果によっては計画を最初に戻さないとまずいのではないかとならないか。
⇒委員の意見を聞き議会にも報告をしているが、公共施設は地域の皆さんが使用していることから、総連合自治会、まちづくり協議会などにも意見を聞かせてもらい、同意を得ながら公共施設の問題は進めていかななくては行けない。ベースになるところは、丁寧に説明し意見交換を行い、「市が一方向的に考えてきた」と言われぬようにしたい。
計画策定の考え方について、「こんな事を踏まえながら、個々の方向性を考えてきております」と言えるようにしたい。
- ・計画を平成30年1月以降に策定し、それを各地区へ説明に行くのか。
⇒今のスタンスでは、意見交換会後と同様の方法で順番に回るかまではまだ決めていないが、要望があれば行く。